

第36回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

C.都市の再興・まちづくり

【HP 掲載No. C01】

発表No.	C01
タイトル	災害情報プラットフォーム「BCP-ComPAS®」の概要と能登半島地震での活用
所属・名前	鹿島建設株式会社 高井 剛 鹿島建設株式会社 古川 大志
キーワード	① GIS ② リアルタイム災害情報 ③ 令和6年能登半島地震
<p>BCP-ComPAS®は、社内BCPを強化するために災害情報共有を目的としたツールである。本ツールはGISを用いて、情報の一元管理を行い、かつ、分かり易く表示するものである。また、メールで災害発生を通知する機能も持っている。コンテンツである災害情報には、国や自治体が公開するハザードマップ（想定地震震度・洪水浸水深、高潮浸水深など）やリアルタイムで得られる気象情報や河川氾濫情報、地震計測震度（建物被害推定を含む）やSNS情報などがある。</p> <p>本システムは2019年より社内展開しているが、今回、元日の能登半島地震で初めて大地震で活用された。本報告ではBCP-ComPAS®の概要と令和6年能登半島地震での活用事例を報告する。</p>	